1. 直感的說明

・傾きやけて:期首資産1単位の投入は複利でほぼけり倍になり

汉朝資產。反映

・切片の差:質金が大きいほど初期消費を抑え、より多くを

貯養にまわせる

2、年金給付額

中年期平均所得

 $\pi^{(0)} = (1/3)/3, 1/3)$ 1. 対し, 遷移行列 P から 中年期分布 $\pi^{(0)} = \pi^{(0)}P = (0.2944, 0.4112, 0.2944)$ これに質金を掛け、(4) = (0.8027, (-0.1.2457)) $= [4] = = \pi^{(0)}$ $= \pi^{(0)}$ =

したがって総税収は 0.30423

· 運用後。税は (1+1)×0.3 E[りむ]

・対象人ロー定より 一人あたり年金給付は. $b = (1+r) \times 0.3 E[3,7 = 1-6386 \times 0.3 \times 1.014] \approx 0.499$ Lたが、7的 0.5

3.年金システム下での貯蓄.

- の年金の導入について
 - 李
 - ・年金ありのグラフはむしまり、上方シフト
 - 中与老
 - ・年金ありのグラフはなしまり、下方シフト

直逐的新确

中年期母取り減少を見越して早期貯蓄が骨加

・老年期の自己資金での貯蓄需要低下